

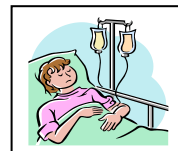
まちのくすりやさん 第28号

今回のおはなし

「がん検診」

ザ・タバコ

Q&A



がん検診を受けよう

男性の二人に一人、女性の三人に一人が、生涯のうちにがんを患うといえます。早期発見・早期治療に重要なのが「がん検診」。少額の自己負担で受けられる自治体検診から、高性能の検査機器を使った高額な民間検診まで様々です。

★浦安市のがん検診（費用が無料）の場合

検診種類	検診内容	対象年齢（H21.4.1 現在）
個別検診	大腸がん検診	便潜血反応検査 40歳以上
	肺がん検診	胸部X線直接撮影、喀痰細胞診 40歳以上
	前立腺がん検診	血液検査 50歳以上男性
	子宮がん検診	頸部細胞診、体部細胞診 20歳以上偶数年齢
	肝がん検診	肝炎ウイルス 検査未受診の成人
集団検診	胃がん検診	胃部X線直接撮影 40歳以上
	乳がん検診	視触診+マンモグラフィ検査 40歳以上で、2年に1回
		乳房超音波検査 30歳代偶数年齢 ☆今年からスタート

※検診には、定員や受診期間、受付方法が決まっているものもありますので、事前に検診実施機関にご確認の上、受診して下さい。（問合せ：浦安市健康増進課 ☎381-9059）

★主婦が健康診断・がん検診を受けるには、

会社員の妻⇒夫の勤務先の健康保険組合が契約している医療機関等で受けられるケースが多いです。がん検診を実施していない場合は、住んでいる市町村で受診を！

パート勤め⇒パート先が健康診断を実施しているかどうか、自分が受けられるかどうかをまず確認しましょう。受診できない場合は、夫の勤務先の健康保険や国民健康保険で受診を！

自営業者の妻⇒国民健康保険の加入者は、市町村が、がん検診の窓口になっているケースが多いです。まずは、住んでいる市町村に確認を！

ガ・タバコ

メタボリックシンドローム対策に禁煙は必須です！！

2008年度から特定健診・特定保健指導がスタートしています。メタボリックシンドロームに対する保健指導では減量を目的とした食事や身体活動に重点が置かれることとなりますが、喫煙は動脈硬化性疾患の独立した原因であり、メタボリックシンドロームや糖尿病の発症のリスクを高めることから、禁煙に取り組む必要があります。

タバコをやめようと考えている方 ぜひ薬剤師にご相談下さい。



ピンクリボン運動



乳がんは乳腺にできる悪性腫瘍です。乳腺は小葉と乳管からなっています。乳がんの多くは、この小葉を構成する細胞から発生します。

乳房の変化に気付かず放置していると、がん細胞が増殖して乳腺の外にまで広がり、リンパや血液の流れにのって、肺や肝臓、骨など乳房から離れた臓器にまで及びます。日本では、乳がんにかかる女性は年々増えており、今では年間約4万人の女性がかかると推定されています。また亡くなる方も、ここ50年間で7倍近くに増えています。

女性の全年齢層では胃や大腸のがんで亡くなる方が多いのですが、30歳から64歳の壮年層では、乳がんが死亡原因の第1位となっています。

若い時から関心をもつことが大切です。



新型インフルエンザにご注意下さい。

外出後は、必ずうがい、手洗いを十分して下さい。

浦安市役所内 健康増進課 電話 351-1111 FAX 381-9083

市川健康福祉センター(保健所)「発熱相談センター」

電話 047-377-1101

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社)浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金:10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp